

令和4年度 第2回 いいづな歴史ふれあい館協議会

会議メモ

※ 第2回協議会メモは、当日の録音機の不調により、概要のみを示します。

日時：令和4年(2022) 7月8日(金) 10:00~11:50

場所：いいづな歴史ふれあい館 小ホール

【開会】富樫館長

【あいさつ】

馬島教育長 コロナ再拡大中、できる範囲で進めて。

中村会長 「コロナは非日常なのか」の問いかけから見えてきたものがある。大切なものを取り戻すチャンスでもある。

【協議】

(1) 令和3年度の事業報告

委員 コロナの影響にしても観覧者数の減少が大きい。利用者統計の内訳の出し方に工夫をして、いかに地元に貢献しているかを訴えられるようにしたほうがいい。数字だけで業績を判断されないように考えることが大事。建物があって活動していて町のPRにもなっていることを主張できるように。

馬島 学習支援の活動の活発さは館の大事な活動。人的な財産が有ることを見過ごしてはいけない。

中村 栄町区長として出前講座で「佐軍神」について依頼した。参加者が「目からうろこ」といっていた。住民の歴史への視点を変えた講座。館の人的な寄与。区長会などでもPRしてほしい。

委員 昨日から「食の匠講座」が開始された。今回特に若い世代の参加が多い。昨日の学芸員の講座では参加者は感銘をうけていた。

委員 昨年連続文化財講座的なミニ講座は継続してほしい。参加しやすい形で、フィールドワークも含め検討してほしい。

(2) 4年度特別展企画と夏休み探検計画

委員 パネルや模型が多く魅力に乏しい。工夫を。現地見学の企画がほしい。

委員 隧道こども見学はよいが、大人も知らない人が多い。取り入れ口など見ておくと災害の時に想像力を持つことが出来る。大人向けの見学も考えてほしい。

- 小山 会期中に一般向けの用水見学会を企画したいと考えている。
- 馬島 霊仙寺湖のことも知らない人が多い。水払いの時に見学とか。
- 委員 こどもたんけんのときの様子を特別展で紹介してほしい。
- 委員 夏休みのこどもの居場所づくりに貢献。ほかに放課後の居場所、ボランティアスタッフ機能など学校との連携を。
- 中村 恒常的なこどもたちの学びの場に。
- 委員 こどもたんけんの安全管理、責任の所在の確認は？事故対策など慎重に計画を。
- 富樫 芋川区の承諾を得ている。用水係と打合せ、さきごろは下見をした。
- 委員 用水の開発によって集落が形成されてきた歴史を理解できる展示物は予定しているか？
- 富樫 詳細な変遷を説明するのはなかなか難しい。
- 小山 山下委員所蔵の「倉井村検地帳」が用水開発の前と後では冊数が違う。開発後は村が増え帳面が増えている。そうしたモノから村の発展を感じてもらうことはできる。
- 中村 展示を通しての気付きを期待したい。集落の形成、産業の変遷、技術史の視点も。
- 馬島 現地では全体像が分からない。全体像をつかむ展示企画に意義がある。
- 委員 「牟礼は縦堰、三水は横堰」といった。地域の風土の違いを説明できる分かりやすさ。北部高校から飯綱山と牟礼地区を見ながら説明したとき説明しやすかった。
- 委員（2名） ため池の視点も大事。三水の水神は取入口にある。牟礼はため池にあることがある。
- 委員 QRコードの活用、いま生徒はタブレット必須。調べごとの成果を動画やサイトにまとめQRコードでアクセスし合う学習法。取り入れを。
- 委員 ドローン撮影の活用を検討しては？地元の撮影グループが有る。
- 富樫 ドローン規制がいろいろありむずかしいと認識している。
- 馬島 三水小学校に旧第一小学校航空写真がある。黄金色の水田がすばらしい。ぜひ展示を。
- 委員 「図1」が今回の展示の肝。リニューアルの際の重要な資料になる。これがどこまでつくれるかが大切。また“もし用水がなかったら、鳥井川がなかったら”を想定した発想にふれてほしい。危機管理的な視点をもつために重要。

（3）基本計画策定に向けて（方針）

- 馬島 テレビで博物館を学生の学習室に使った事例を紹介していた。当町は「博物館」ではなく「ふれあい館」。その視点でアンケートの聞き方を考えてみては。
- 富樫 アンケートで出た意見は無視できない。聞き方はたいへん重要。
- 委員 アンケートは難しいもの。いかに館の主体的な思いを伝えられるかが問われる。対面とるのがベスト学習会などの機会をとらえて意見をあつめてはどうか。シンパシーを感じられる人から回答を得られるのが良い。とくに若い人、10代の人意見が今後の町のために大事。

馬島 アンケートから得られるものとそうでないものがある。

富樫 スケジュール的に対面での取り組みは難しい。いずれにせよパブリックコメントをとりたい。そうでないと設計ができない。今年度内に計画を固めたい。16頁「基本計画に盛り込みたいアイデア等について」を参考に。今まで協議会で出た話をもとにして。

委員 出前講座などの機会には、ただ面白い話だったではなく、館の現状を課題を必ず話してくる時間をとることが大事。町民の認識をふかめるため。

(以上)